

シリーズ 3. 言語能力がない合格者 なぜ、合格しているのに安心して、任せられないのか？

- ※ コロナ禍が長期化して、EPA 受験者の入国も不安定な状態が続いている。この不安定さは、人員不足で悩む受け入れ機関にとっては、労働力確保の点から非常に大きな不安要素となっている。
- ※ この対策としては、現在受け入れている受験者の「質の向上」を図ることが、一番の解決方法だ。
- ※ 「質の向上」とは、言語能力を確実に身につけさせて、「日本人と同等程度の能力」にすることだ。そのことにより、合格者を増やすことができる。
- ※ 教育に投資することは、労働力の「質の向上」を計画的にできることを認識すべきだ。「質の向上」を図るには、専門家の教育指導が絶対必要だ。

I、【一年目の教育指導で全てが決まる！】

A、一年目の教育指導の仕方をご存知ですか？

1、最初に「質問の仕方」を指導することが重要

- 表 1 のような授業を行うためには、受験者が教師に質問できなければ双方向の授業は成立しない。
- 「質問ができる」ということは、意思疎通を深めるために重要で、「双方向の会話」が成立する条件ができることだ。このことは、受験者の日本語習得の自覚を促すことができ、同時に「自学能力」をも養われることになる。

表 1、双方向の授業
受験者 教師



2、「会話成立の能力」を養うことが重要

- 表 2 は、日本語学校や専門学校に多い授業形態だ。これは受け身の教育で受験者の自覚を促さない環境だ。
- 一方向の授業は、受動的な教育のため「自学能力」をも養われないし、能動的な意欲を阻害する。そして、行動も消極的になってしまう。

表 2、一方向の授業
受験者 教師



B、会話には二種類あることをご存知ですか？

1、一つ目は「生活会話」を指導するのが重要

- 生活で使われるのは、表 1 の形態が多い。だが、言葉では慣用語が多く使われて、日本人独特の表現が多いのが特徴だ。
- 会話には領域によって、難易度がある。会話は発話者によって、男・女言葉や丁寧語等多様で、外国人には対応できないことが多い。また、生活環境や地域の違い等によっても、会話内容が大きく変わるので、対応能力が必要だ。

2、二つ目は「職場会話」を指導するのが重要

- 命令系統によって異なり、「指示・指導型の会話」となる。例えば、「報告・連絡・相談」は、指示・指導の領域であり、一方向の会話と認識すべきだ。
- 一年目では、口頭の報告だけではなく、文書で報告できる基礎力（構文力）を身につけさせることが重要だ。

II、【なぜ、一年目の教育指導が大切なのか？】

A、現場での基本的な意思疎通が必要

- 基本的な意思疎通とは、基本概念領域「人・物・所・時・事・自然」の基礎語彙を瞬時に使いこなせる能力を言う。
- 瞬時に使いこなすためには、「日本語の文型」の習得が必修となる。これらが習得できて発話することで、初めて意思疎通が可能となる。そのための指導が必要だ。
- 基本的な意思疎通とは、音声だけではなく、文字言語を必ず伴った指導をしなければならない。その理由は、業務では口頭だけでなく、文書での意思疎通も必要とされるからだ。さらに、打合せや会議で必要になるメモを取る力を養う指導が必要となる。

※ 一年目から漢字熟語の多い専門用語・知識を重要視する学習は、表 3 の「職域言語能力」から指導することとなる。そのため、「覚える学習」となり、「理解を伴った学習」にはならない。さらに、受験者の学習意欲を阻害する一番の原因となる。ことを認識して、指導すべきだ。

表 3、【言語習得段階】



B、受験能力の基礎知識が必要

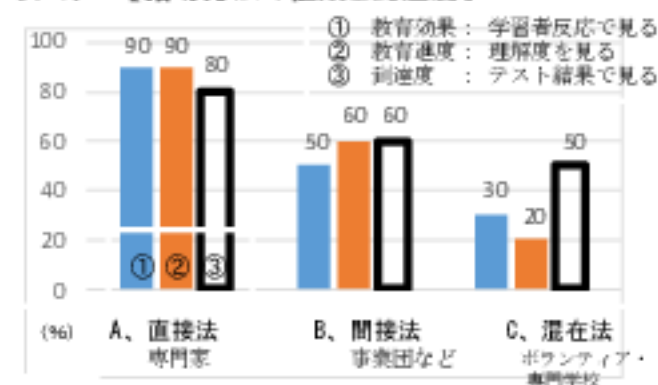
- 日本語には三種類の言語「和語・漢語・外来語」が用いられる。まず、和語については訓読みで、漢語は音読み化することを理解させる必要がある。なお、漢語には読みの規則性の理解を、必ず指導しなくてはならない。
- これらの基礎的能力を身につけない限り、三種類の言語で書かれている参考書や国家試験問題を読解することは不可能だ。
- 外来語は、外国人だから簡単に理解できると錯覚しがちだが、日本語独自の言葉（造語）が多く使用されているために、外来語とその「造語の見分け方」を指導することが、受験対策の基礎となる。

1、「直接法」の効果はどのくらい？

- 「直接法」とは外国人の母語を一切使わず、【日本語を日本語だけで指導する方法】だ。習慣も文化も違う外国人に対して、日本語を教える最も効果的な方法は、「子供が言葉を習得する過程」に従いながら、指導することが、人間として自然に習得する方法だ。例えば、子供は第一に、耳から言葉を習得する。そして、第二に、習得した言葉を声に出して使う。第三に、習得した言葉を集めて自分の意思を表す。その次に、文字の言語の領域に入ることを考えれば、専門用語を多く使った文を最初から学習させる方法は、全く言語習得過程を無視した方法だと言える。だから、「直接法」によって習得した受験者は、合格率が高いのだ。

- 表4Aの通り、「直接法」は日本語の基礎となる文型習得に時間を費やすが、教育効果90%で、到達度は80%と他の方法と比べて一番高く、全ての受験者が3か月間で教育効果を実感している。この理由は、受験者が自学しながら、「日本語を日本語だけで考える」ようになっていくからだ。
- 「直接法」は、言葉が持つ概念を基に教育するため、どの国であっても理解できる。まずは、具象語から提示し、その語彙を基に【規則性と用法】を指導する。教材は日本語だけで書かれたものを使う。そして、授業は日本語だけで行う。もし、多少の対訳をした場合には混在型となるので、教育効果は明らかに落ちてしまうから、「直接法」とは言えない。「直接法」で学んだ受験者は、日本語を日本語で考えるようになり、同時に【自学能力】が身につく。「直接法」が理解できている教師は数少ないがゆえに、日本語教育の専門家と言われるゆえんだ。

表4、【指導方法の種類と到達度】



※・13,000人以上の外国人教育を行った実績を基に、教育効果と教育進度と教育到達度のデータを集約したものに基く。
・ことばの研究社では全ての学習者の教育効果・進度・到達度を常にデータ化し、新たな学習者の対応策に活用している。

3、「混在法」の効果はどのくらい？

- 「混在法」とは、「直接法」と「間接法」のような指導法ではなく、受験者が理解できない言葉に対して、教師が知る範囲の英語を用いて指導する方法だ。中には、受験者の母語が分かる教師は、その母語を使う方法もある。
- 「混在法」は表4Cの通り、全てが低い数値であることが特徴だ。この理由は、教える基準や指導法が確立しておらず、言葉の説明を中心に教える人が指導するためだ。「混在法」で学んだ受験者は、日本語に対する理解力がないために、常に混乱した状態が続く。その結果、いつまでたっても言語能力に変化が表れない。
- 「混在法」で指導する教師は、基本的に言葉の説明をする姿勢が強い。自分が知っている範囲の知識のみで対応するために、間違った専門領域の指導をしても、気づかないことが特徴だ。さらに、多くの教師は対訳本の教材に頼りながら対応している。その対訳に間違いがあっても、正しく理解できないために、間違いにすら気づかず指導する。その結果、受験者は教師の指導の質に対し不信感を抱くようになり、学習意欲も下がり、教育効果が高まらなくなる状態が表れる。

表5、【受験者から実際にあった質問です】

- A1、「準備」と「用意」はどう違いますか？
A2、「たくさん」と「いっぱい」はどう違いますか？
A3、「大切」と「大事」はどう違いますか？
※ 職員がよく使っていますが、違いが分かりません。
B1、「口口は」と「口口が」はどう違いますか？
B2、「口口に」と「口口へ」はどう違いますか？
B3、「口口に」と「口口で」はどう違いますか？
※ 職員の使い方がいつも違うので、分かりません。
★ あなたは、このような質問にどう答えますか？
「間接法」や「混在法」では、正しく意味の違いを答えられませんので、「直接法」での指導の仕方を考えてみましょう！！

2、「間接法」の効果はどのくらい？

- 「間接法」とは、【母語を日本語に訳して指導】する方法だ。そのため、教師は外国人と同等の言語レベルでなければ、「間接法」で教育することは困難だし、受験者が理解できない。
- 表4Bの通り、「間接法」は受験者が持っている母語を使って指導するために、常に母語を意識しながら日本語を理解しようとする姿勢になる。また、対訳した語彙を暗記することに集中する傾向が強い。そのため、記憶力の差によって理解度が大きく開く。さらに、ある一定時間が経過しても、教育効果と到達度は60%程度にしか高まらない。この原因は、母語と日本語の概念の違いが理解できないために、正しい理解力に至らないためだ。
- 「間接法」は、日本語だけで考えることができないために、日本語での反応が遅い。また、使用教材が対訳されているために、日本語の用法が理解できない。さらに、口頭では自分の意思を正しく表現できないし、文書でも構文力がないために、長文などは書くことができないのが特徴だ。

施設の嘆きの声

職員の日本語教育指導では限界！

- 初めて EPA を受け入れ、職員自体が右も左も分からなくて、受験者に対応していた。受験者は母国でも日本語を学び、さらに、日本で集中研修も受けていたので、日常会話はある程度できと思っていた。入職して1年目は日々の生活・業務に慣れさせることが先決だという、施設の方針だったので、日本語教師に依頼することなく、日本語学校にも通学させずに、職員が日本語の勉強を見ていた。
- 当初は、業務での利用者対応は問題なく、施設の雰囲気にもだいぶ慣れてきて、言葉の数も増えてきていたので、このまま順調に進んでいけると思っていた。しかし、一年近く経っても、利用者とは決まったことしか話せないし、事業団の教材を使って教えても「言っていることを理解できていない」のが、よく分かる状態だ。
- このままだと、職員の手間暇が無駄にかかるだけだから、方針を変える必要がある。まずは、専門家に依頼して、日本語をきちんと学ばせて、国家試験の受験能力を身につけさせたい。専門でない職員では限界があることがよく分かった。
(千葉県・Y施設)

ボランティア日本語教師では限界！

- ボランティアの日本語教師に毎回指導を依頼している。受験者達もその先生とは楽しそうに話をしたり、まじめに勉強をしている。しかし、職員には具体的な教育内容の報告がないので、実態が把握できていないことが不安だ。勉強以外でも、生活面の相談を色々としているようで、職員には話せない「不満」を先生にだけは話しているようだ。職員との面談を定期的に設けているが、「大丈夫です・問題ありません」の反応が多く、毎回、不思議にも肯定的な返答しか返ってこないことが特徴だ。
- しかし、既に入職して一年以上経過しているのに、業務では「指示通りに動けない・言ったことができていない」ことが目立つようになった。入職直後であれば仕方ないが、一年も経って「同じような業務をしているのになぜ？」と疑問を感じることも多くある。最近では一部の受験者の中には、入職直後の日本語力よりも下がっていると思うこともある。
- 週一回、定期的な学習時間を取り、先生の指導を受けているのに、本当に日本語力が身につけているのか、だんだん疑わしくなってきた。事業団のテストだけでは判断できないために、【月報】に掲載されていた「10 分間テスト」を受けて、今後の方針を考え直したい。
(長野県・H施設)

★ 実益があるお知らせ ★

1. 10 分間テストは、実力を見ることができる！！

- テスト結果を言語技能別に数値で表すために、受験者の言語能力を可視化できる。
- 考察票では、今後の教育指導方法と対応方法を具体的にお知らせする。

2. 特定技能実習生を即戦力にする！！

- 都道府県によっては、「助成金制度」を活用して、プロの日本語教育を受けられる。
- プロの日本語教育では、3 回のスカイプ授業で意思疎通ができるようになる。
- 弊社の過去の実績では、全員6 か月間で現場の戦力となって、活動している。

- 授業では、専門用語が頻繁に会話の中で使われているので、日本人が聞いていても「難しいことを話している」と感じる授業のレベルだ。
「これで本当に理解できているのかなあ、理解できていれば、その人のレベルは随分高い」と思う。以前の受験者も同じ授業を受けていたが、残念ながら、合格できなかった。このやり方では、今度の受験者は、果たして合格できるだろうかと、今から疑問が残り心配でもある。
(東京都・T施設)

オンラインワンウェイ教育では限界！

- 日本語が学べる介護専門学校に通学させている。日本語や専門知識を教える時間がなく、学校に全部任せられるから、安心だという考えで選んだ。勉強の日は丸一日休みにしていたので、学校が終わった後は、仲間と町で楽しんでいただきた。しかし、今はコロナのため、オンライン教育に切り替えて学習している。外に出られないので、受験者にとっては不満のようだ。職員としては感染リスクが軽減されると、ホットしている。
- オンラインで学んでいるため、授業の様子を見ることができる。見たところ、先生が一方的に話して、それを聞いている状態だ。複数人で学んでいるため、一人ずつ質問ができないし、中には集中力がない受験者もいて、先生は教えることに集中して、気づいていなかった。先生が時々、質問する時もあるが、「はい、わかりました・大丈夫です」の返答だけだったので、疑問を持った。
- 見たところ、完全に受け身の授業であるために、本当の理解ができているかどうかは、全く分からない。そして、質問ができる状態ではないために、理解できないことがそのままになってしまう。

自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

EPA学習支援
スカイプ・教材の問い合わせ先
ことばの研究社
電話：086-486-1742
FAX：086-486-1744
岡山県倉敷市徳芳 841

学習支援 主教材

基礎言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】

ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、各詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2805 円)

※ 習得漢字数 310 字～620 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】

会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2805 円)

※ 習得漢字数 420 字～840 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。

論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。

仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,300 円)

※ 習得漢字数 850 字～1,700 字

※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

使ってみてビックリ！
教育効果の高さ
学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。
イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。
(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。
(1,980 円)

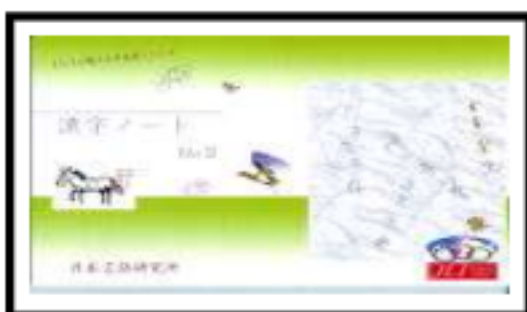


『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。
非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその育出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。
(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。
漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。
非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

ことばの研究社

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かきど (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試3レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※ ※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)

< おまかせコース >

【一年目 到達度試験(初回~Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵カード(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E~国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2,3レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。 ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。 ④簡単な業務日誌が書ける。 ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。 ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。 ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。 ③自学で「過去問」を解ける。 ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①業務の実践力を養う。 ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。 ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。 ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。 ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題、領域「法律・日本事情等」が読解できる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。 ③マークシートの解答ではなく、文章による解答ができる。 ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】 EPA学習支援 こぼの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。** また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職 域 言 語 能 力 を 養 う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生 活 言 語 能 力 を 養 う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基 礎 言 語 能 力 を 養 う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		